

東 北 方 面

北上新川の架橋完成

石ノ巻佳景山より登米、本吉兩郡に至る陸上交通は最近急激に發展し、大型小型の乗合自動車も毎回満員鈴成の状態となり、殊に昨年北上川神取渡船場に架橋されて以來非常に時間が短縮され至極便利となつたのであるが只だ一ツ残る問題は北上治水工事によつて本吉郡柳津町より桃生郡飯野川町に通ずる新川分流のため交通を阻まれて居るのを遺憾として昨年四月より架橋工事

を起し、約一年餘を旅客も物貨も渡船に依つて僅かに往來して居つたのであるが其の後工事着々進捗し二月初めより特に通行することを許したので一般に好評を博して居る、之れで佳景山驛より志津川、氣仙沼方面は自動車で直通することが出来るやうになつたので舊來の不便は茲に一掃され關係地方では非常に喜んで居る。

小野橋と白石大橋

昨春以來工費十二萬餘圓で工事中であつた白石大橋は二月二十日愈々工事を完了したので近く開通式を舉行することゝなつた

が、小野村の鳴瀬川に架れる小野橋は昨秋以來老朽腐爛甚敷、荷馬車の如きは積載物を三十貫以内制限され不便不利なる爲め關係地方では愈々架替運動を起すことゝなつた、同橋は江合、鳴瀬川合流改修の結果、現在の位置より上流約百五十間の位置に移して新たに架橋するといふ方針で、既に敷地買収等も其の當初より計畫に含まれてゐたので現在の橋梁は重量制限や諸所を膏藥張りとして辛うじて渡橋し得る事は誠に危険だと言ふので豫定位置に速に架橋するやう縣に陳情し其促進を運動して居る。

仙臺驛前の道路舗装

一日數萬の乗降客を吞吐する東北の關門仙臺驛前の道路は、大都會の表象として新舊時代を劃するアスファルトマカダム道に舗装の工事中で日本石油會社道路部の入夫約五十人が毎日ロードローラーの周圍を活動して居る。近時大都會としての内容を整備して來た仙臺は急激に乗降客増加し列車

の着發毎に仙臺の玄關口は非常に雜沓し道路等も甚だ不備不潔で入市する第一印象が頗る不快であつたが、今度の工事に依り玄關口だけは大都市としての面目が改まる譯である、工事設計によつて見ると、降車口を基點として左寄りが幅員十二米の直線道路右寄り宣城電鐵の乗車口を經て仙臺市の中樞神經に通ずるものが幅員八米で鋪裝工事の總面積は二千四百四十五平方米である。

關 東 方 面

東京府の橋梁架替

東京府では七年度新規橋梁の架替其他の設計準備につき大童となつて居る。架替橋は總て國道及府道に屬する部分で合計二十五橋、此の内市郡の聯合豫算で架換るものは國道橋で其他は郡部單獨の豫算である。架替は從來の木橋を廢して鐵筋コンクリート橋及鋼板桁橋とするものである。而して以上は何れも七年度内に工事を完了せしむ

地方通信

るものである。尙此外に東京都市計畫に屬するものは相當多數に上つてゐるが現在決定されて居るものは四ツ木橋一橋で之は荒

川放水路に架設されるもので總工費は百八十萬圓であつて向ふ三ヶ年繼續事業として目下計畫中に屬する最大橋である。七年度に架換施工の重なるものは以上の外に

水神橋（國道四號線、南足立、北足立）

兩界橋（國道八號線、南多摩郡淺川）

護摩橋（同右）

板橋（國道九號線、北豊島郡）

坪澤橋（府縣道第三號、青梅甲府線）

草木澤橋（府縣道同右）

右は何れも鐵筋コンクリートに架替るものである。次に郡部單獨に屬するものは

水無瀨橋（恩方八王子線）、布橋（八王子川

和線）、龍野橋（町田登戸線）、明治橋（青梅

御嶽線、鐵筋コンクリート鋼桁橋）、御新造

橋（福生御嶽線）、平井橋（同線）、鳥井橋

（同線）、槍溝橋（王子千住線王子町）、中

村橋（中村停車場線中新井）、名無橋（吾嬬

行徳線小松川町）、河原橋（府中川和線西

村）、新井橋（調布川崎線砦村丁宇形コンク

リート橋）、谷川橋（八王子豊岡線加住村）、

坂下橋（青梅蘆ヶ久保）、入平橋（蘆ヶ窪驛

成木村）、久道橋（同上）、尾崎橋（五日市甲

府線）、上巻澤橋（五日市御嶽線）、大向橋

（五日市上野原驛鋼筋コンクリート橋）、樽

澤橋（日原水川線）等である。

材料暴騰で鋪裝行惱

舊冬以來各種の道路鋪裝材料引續き價格の昂騰を來たし、爲めに各地共尠からぬ打撃を蒙つてゐる、殊に公共團體に於て施行するものは既定豫算の關係もあり甚敷難澁して居る、そこで設計の更改或は材料の變撰に就て擬議中の處も尠くない、殊に流用豫算の無い處では以上の方法を執る外に方途を見出すことは不可能事であるとして材料に幾分の變改と設計に多少の更正を斷行する模様で現に東京市でも深川區東平井町より東陽公園角に至る鋪裝工事入札に於て

も三萬七千九百圓超過であつて其氏名は山形米吉、上田佐助、橋本店、勝呂組、増田磯吉、森本千吉、高橋謙一郎、鹽坂淺次郎、鈴木辰五郎、澤八五郎、石井鶴次郎、野村專太郎、波多野庄治、水野組、川北電氣土木會社等十五名である。

次に同東陽公園角より千田町二一三地先に至る鋪道工事入札に於ても二萬一千三百圓超過となつた。其氏名は泉名永藏、塙三郎、今井久吉、山崎銀介、大野詮吉、江口忠一、沼尻幸吉、三上秀雄、伊藤鐵三郎、井野久太郎、渡邊作之助、葛和安太郎、佐藤榮太郎、大島組、原木組等十五名である。

また同區本村町地先鋪道工事に於ても一萬一千七百八十圓超過で其氏名は岡崎金次郎、堀梢平、辻紋治郎、萩間長平、鈴木堅藏、前田達治、長尾熊一、小泉岩吉、平島巳之助、大川三次郎、多賀井新太郎、小池組、高野組、藤田組、都市土木會社等十五名であつて帝都に於ける信用と確實性を誇る請負者の大部分が以上の如き状態なる爲

め今後鋪裝工事には幾分影響するものと見られて居る。

道路交通の障害除去

道路の占用障害を除去することに就ては、曩に交通協會で水野會長の發議により委員近新三郎氏が専ら其方面に力を注ぎ一般市民の利便を計る事になつて居たが、其の後約四ヶ年六十回の協議を重ねて遂に成案を得るに至つた、これまでは電燈工事、瓦斯工事、水道工事、電纜工事、電話工事等々により、年中常に掘返され一度鋪裝されたかと思へばまた掘返へされ其の不統一に關し市民から常に非難されて居たので、近委員は道路の専用關係者たる警視廳、逓信省工務局、東京逓信局、東京市土木局、同電氣局、同水道局、東京電燈會社、東京瓦斯會社、日本無線電信、東京地下鐵道等と協議を重ね、愈々道路専用並に工事施行に關する協定事項の決定を見るに至つた。其大要に就て見るに、占用手續、占用位置、工

事施行、復舊工事、跡片付費用負擔、其補助等數項に亘つて居る、これで泥土の山、石材木材砂利の山、大掘穴と言つたやうな危険障害は今後適當に處置される事になつた譯である。

新築地一月鳥連絡橋

東京市京橋區新築地小田原河岸より、月島への渡船は不便極まるから橋を架けやうとは數年前よりの懸案であつたが、今度愈々可動橋として舟航にも差支ないやうに企劃が成つた、總延長は二百四十六米、有効幅員は二十二米、内車道十六米六、歩道二米七で中央可動部分の橋脚間は四十四米で此の前後の徑間各八十四米、合計三徑間となるもので桁下は上流の永代橋より五尺五寸餘高く、百噸内外の船舶は煙突を倒さず航行出来る譯であつて可動部の兩橋脚は頗る大きく幅員十五米で上部に二百馬力の電動裝置其他の機械を設備する事になつて居る。可動の所要時間は上下二分乃至二分

半であつて船舶の大小により異なる譯であるが一船舶の通過時間は約六分位いと豫想されて居る。架橋費は二百八十八萬餘圓で既に地質の調査中である。

關 西 方 面

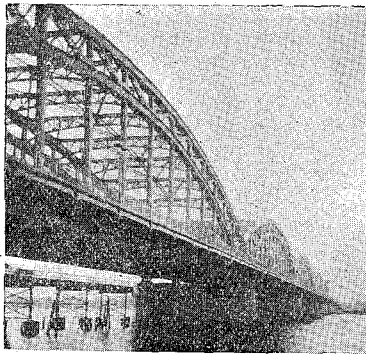
十三大橋の開通式

工費二百萬圓で昭和五年一月に起工した新淀川の十三大橋は二年と一月目に竣工したので二月二日の吉辰を卜して開通式を舉行された。此の日は朝來薄雲に覆はれ、淀の川面を吹く風はいと寒く肌へに沁み渡つたが、午前九時といふに早くも南北兩詰の道路や兩岸堤防上には見物人雲集し、沿道人家や新橋上に美しく飾られた國旗、幔幕紅提燈のはためき、さては川原に打揚ぐる煙火や、祝賀飛行機の廻翔等に依つて、久しく待望されて居つた祝賀気分は頓に横溢した。

午前十一時擧式を報する振鈴により新橋

地 方 通 信

の車道に設へられた天幕内に、内務大臣代理坂本大阪土木出張所長をはじめ、齋藤大阪府知事、大阪府會議長、大阪市長等顯紳二千名參列し次で式は祭員等の奉仕により神事型の如く行はれ、齋藤同府知事は別



(觀 偉 の 橋 三 十)

員一同は列を正して新橋の南詰より通り初めをなし、また北詰よりは地元の小學兒童等が、可憐なる手に手に國旗と、祝開通と染抜いた小旗を振り翳して賑はしき言はん方なく、次で來賓一同は橋の北詰なる大阪池田線新道路上に設けた十三大橋の開通祝賀協賛會主催の賀筵に臨み同協賛會長の挨拶によりて賑かに開宴され主客共に歡を盡して午後五時盛況裡に散會した。

内務大臣の祝辭

本日茲に十三橋架設工事が竣功シテ開通式ヲ舉ケラレマス。交通ノ便否ガ文化ノ向上ノ處デアリマス。交通ノ便否ガ文化ノ向上ノ産業ノ開發ニ至大ノ關係ヲ有スルコトハ申ス迄モナイコトデ近時自動車其他交通機關ノ著シキ進展ニ伴ヒマシテ道路交通ノ日ヲ逐テ益々繁劇ヲ加ヘマスノ秋之ヲ改良シ橋梁ヲ架設シ以テ時代ノ要求ニ應ジマスコトハ蓋シ刻下ノ緊切ナル要務デアルト認メマス。十三橋ハ新淀川ニ架リ府縣道大阪池田線及ビ大阪伊丹線ノ兩幹線ノ咽喉ヲ扼シ北

項記較の式辭を、また三輪土木部長は工事報告を朗讀し、内務大臣祝辭(別項記載)

は坂本大阪土木出張所長代讀し、以下多數の祝辭、道路改良會長の祝電披露等ありて裡に午後一時式を了し、それより參列線及

大阪府知事の祝辭

攝地方ト大阪府トヲ連絡スル交通上極メテ重要ナル地位ヲ占ムルモノデアリマス大阪府當局ガ夙ニ思ヒヲ茲ニ致サレ大阪府中ノ心トスル所謂都市計畫十大放射線道路改良事業ノ一端トシテ曩ニ昭和五年一月工事ニ着手シテ以來工程二年工費百九拾七萬圓ヲ費シテ此ノ宏壯堅牢ナル新橋ノ落成ヲ見ルニ至リマシタ事ハ洵ニ欣快ニ堪ヘマセヌト同時ニ此間ニ於ケル府當局並ニ工事擔當者ノ苦心ノ程モ亦推察スルニ餘リアリマス。今後之レニ依テ交通上一般ノ利便ヲ加ヘ地方ノ開發産業ノ進展ニ資補スルトコロノ極メテ大ナルモノアルコトハ信ジテ疑ハヌトコロデアリマス。

將來維持管理宜シキヲ制サレマシテ長ク其ノ効果ヲ完フセラレマス様希望シテ止マヌ次第デアリマス。一言所懐ヲ述ベテ祝辭ト致シマス。

昭和七年二月二日

内務大臣 中橋徳五郎

十三大橋工事成リ本日ヲ以テ其ノ開通ノ

式典ヲ舉行スルニ方リ多數貴賓ノ來臨ヲ得タルハ寔ニ欣幸トスル所ナリ、惟フニ輒近

大阪市勢ノ發展ハ特ニ著シク交通運輸ニ激増ノ傾向ヲ示シ道路行政上特ニ施設改造ヲ

要スルモノ尠カラザルノミナラズ、關東大震災ノ慘害ニ顧ミルモ幹線道路ノ築造ハ大

都市ノ災變ヲ救匡スルニ最モ緊要事タラザルベカラズ、茲ヲ以テ本府ハ曩ニ市内ヨリ

近郊ニ達スベキ十大放射線ノ計畫ヲ樹テ大正十五年六月内閣ノ認可ヲ得、以テ近代

高速度交通ノ要望ヲ充タシ併セテ不時ノ災變ニ策應セシメタリ、斯クテ其ノ實施ニ當

ルヤ大阪池田線中十三橋ハ北部大阪ノ咽喉ヲ扼シ其ノ政策ハ焦眉ノ急ナルヲ思ヒ昭和

五年一月工ヲ起シ爾來星霜ヲ閱スルコト二年技ヲ練リ工ヲ督シテ茲ニ功ヲ竣ヘタリ。

柳本橋ハ其延長七百三十六米、幅員二十米、歩車道ヲ分チ橋面鋪裝ヲ完整シ、耐震

耐火、構造壯麗、經費二百萬圓、淀川大橋

ト共ニ新淀川ニ跨ル一大偉觀タルヲ失ハズ今ヤ淀川南北兩岸ヲ完全ニ聯絡シ將來地方

ノ發展開發ニ、將亦國運ノ隆興ニ寄與スル所寔ニ鮮クナラザルヲ信ズ、茲ニ本事業ノ

達成ニ多大ノ援助ヲ致サレタル政府當局並ニ關係方面ニ對シ深ク謝意ヲ表スルト共ニ

將來本橋ガ其ノ効用ヲ完カラシムルコトヲ庶幾シテ止マザルナリ聊カ所懐ヲ述ベテ

辭トス

昭和七年二月二日

大阪府知事 齋藤 宗宜

工事報告

十三大橋工事成リ本日之カ開通式ヲ舉行セラル、ニ方リ工事ノ概況ヲ報告スルノ機

會ヲ得タルハ最モ光榮トスル所ナリ、抑々十三橋ハ往昔能勢街道中ノ一小木橋ニ過キ

サリシモ淀川ノ改修ニ伴ヒ明治四十二年幅員十八尺延長三百八十五間上路式工型鋼桁

橋トシテ面目ヲ革メタリ爾來壽齡二十年ヲ超ヘ頽廢著シク而モ此ノ間市域ノ擴張發展

ニ伴ヒ交通量激増シ其ノ不便忍ブベカラザ

ルモノアリタルヲ以テ彙ニ本府執行事業トシテ十大放射線路ノ選定セラル、ヤ其實情ニ鑑ミ大阪池田線ノ改築ヲ急務トナシ之ニ附隨スル十三橋ノ改築ハ最モ緊急ト認メ之ガ施行ヲ企劃シ昭和五年一月工ヲ起シ同年十一月之ヲ了シタリ橋型ハ中央部鑿拱橋橋兩端鉸桁橋ニシテ全長七百三十六米六、幅員二十米、下部橋脚十六基、橋臺四基ヨリ成リ内低水敷鑿拱橋脚六基ハ深サ二十五米ノ潜頭基礎ヲ沈下シ洪水部分鉸桁橋脚十基ハ長六十呎ノ米松基礎杭打ト爲シ何レモ鐵筋混凝土構造トス橋臺ハ長四十呎乃至六十呎ノ米松又ハ混凝土基礎杭ヲ使用シ是亦鐵筋混凝土構造トセリ上部鋼材六千二百餘噸ハ八幡製鐵所ノ國產製材ヲ使用シ橋床ハ鐵筋混凝土床版ト爲シ車道ハ「アスファルト・プロツク」步道ハ「セメント・モルタル」鋪裝ヲ施シ尙大阪市電氣局ノ軌道計畫ニ基キ中央ニ軌道敷ヲ設ケタリ工事ノ施行ハ下部橋臺橋脚工事ハ大林組ニ鋼材製作及架設工事ハ大阪鐵工所ニ橋床及高欄工事ハ

地方通信

飛鳥組ニ、ペンキ塗工ハ鉛粉塗料會社ニ夫々請負ハシメタルガ何レモ精勵良ク工ヲ竣フルニ至レリ而シテ之ニ要シタル總工費ハ實ニ二百九十六萬九百廿餘圓ニ達シ使用延人員八萬九千餘人ヲ算セリ、本橋工事ハ近代科學ノ粹ヲ盡シ計畫施行シタルモノニシテ耐震耐火等ノ諸點ニ於テ殆ド間然スル所無キハ勿論大大阪北郊ノ聯絡交通上面目ヲ一新シ産業發展上寄與スル所尠カラザルベシト信ス右報告ス

昭和七年二月二日

大阪府土木部長 三輪 周藏

中國方面

明加國道竣工近し

一箇年計畫で工事中の二號國道明石加古川間改良工事は曩に基礎工事を修了し今や路面鋪裝の施行中なるが既に八部通り竣工したから年度内に全部完成の筈である。此の工事中最も困難とされた加古郡平岡村の

省線交又跨線橋も三十三分の一の傾斜で既に完了したが舊國道の踏切番は失業する譯である、尙ほ加古郡加古川町内の國道工事は曩に縣管で完成したが昭和七年度は明石國道改修費豫算五十萬圓となつて居るので内務省の明石工事事務所では印南那米田村から阿彌陀村まで六千三百米突の改修工事を實施の豫定にして居る。

道路功勞者表彰

山口縣佐波郡和田村なる帝國在郷軍人分會と同村の荷馬車組合とは連合して、道路補修に關し功績不尠去る二月十一日紀元節の佳辰に方り、岡田同縣知事より夫々表彰された。

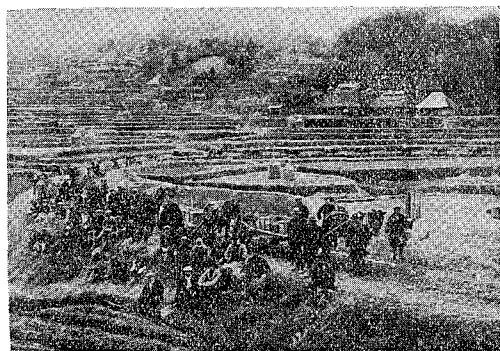
帝國在郷軍人會佐波郡和田村分會 佐波郡和田村荷馬車同業組合 一致協力常ニ道路ノ補修ヲ爲シ地方交通ニ裨益スルトコロ尠カラズ今後一層ノ盡力ヲ望ム茲ニ山口縣選獎規程ニ依リ之ヲ選獎ス

昭和七年二月十一日

山口縣知事正五位勳五等 岡田周造

今右兩團體の事績に就て見るに、同村を貫通する府縣道鹿野富海線は大正十二年四月郡道から府縣道に編入され、同出雲福川線は遠く大正九年から府縣道ではあつたけれども、路面は荒廢して車馬の交通は殆んど阻止され、南都濃郡夜市村に通ずる夜市（佐波郡矢地）峠（府縣道出雲福川線）及湯野村に通ずる柿ノ木峠（府縣道鹿野富海線）竝北、串村に至る熊坂峠等は孰れも冬期至る毎に泥濘深田と化し交通地獄に泣くこと久しかつたのであるが、前記兩組合は數年間不斷の精神的社會奉仕作業の結果、今や自動車の運行頻繁なるを見るに至つた、前記二團體の設立は、大正十一年の頃であるが其の前年即ち大正十年十月二十六日同郡防府町の惠美壽座に於て内務省から三浦技師と都筑幹事が道路改良の講演出張されたのが基因となり、遂に今日の如く全往時の面目を一新した次第である。大正

十五年の二月には社會的奉仕作業として在郷軍人會は統制ある指導の下に共同して府縣道の路面補修、砂利採取、排水施設等に奮勵克く効果を擧げたので村當局は該事業



（舉美の護愛と良改の路道）

の獎勵並慰勞として金五十圓を同分會に交付し、翌昭和二年二月には前年の例に倣ひ府縣道の補修に従事したのであるが、此の時より同村荷馬車同業組合も在郷軍人分會

の美舉に参加して協力する事となり、砂利運搬等は之を同組合員が引受け、また防府土木出張所長が監督に出向き有志や村長も立會ふ快舉となつて成績頗る良好となり村當局は前年の例に倣ひ分會に五十圓、組合に十圓を夫々交付したのである。爾來毎年兩團體は或は合同し、或は單獨に、或は部署を分割して常に小破の内に之を補修して大破に至らしめざる等賞讃に與ひする點不尠、殊に村よりの交付金は之を積み立て、基本金とし在郷軍人會には既に參百圓、荷馬車組合にも八拾圓を蓄積して不慮の災厄等に罹れる者に對し一箇年間は無利子貸付を爲す等救済資金に充てゝ居る。又他より金錢物品の寄贈等は受けず、眞に正しく美しき國家奉公の勞仕作業として努力して居るのである。兩團體の業績は此の如くであつて直接には人馬諸車の通行に裨益する所多大なるのみならず、惹ては地方産業の振興を資け人文の開發を誘導し社會公益上に貢獻するものであるとして紀元の佳辰に際

し特に知事から選奨された次第で現在分會長には山崎一助、組合長には喜代永敏熊之に當り前者は會員百六十名、後者は組合員三十八名を擁して居る。

九州方面

道路功勞者表彰さる

福岡縣では去月十一日紀元節の佳辰に道路功勞者の表彰と道路愛護運動の成績優良なるものに對し感謝狀を付與した。

表彰狀

正五位勳三等 佐々木正藏

多年土木事業ニ盡瘁シタル功績顯著ニシテ他ノ模範ト爲スニ足ル 仍テ茲ニ時計一個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和七年二月十一日

福岡縣知事 正四位勳三等 中山佐之助

右福岡縣三井郡佐々木正藏は資性濃厚にして篤實常に志を地方公共の事に傾け其の一人を公事に捧じ、過ぐる明治七年戸長とな

るや維新の大業未だ安定を缺ぐものあるを憂ひ東奔西走克く郷閭を指導して銳意村治に努力し、在職八年治績尠からず、後ち村治の確立を認むるや職を後進に譲り爾來教育に治水に幾多の公共事業に盡した功勞を認められたものである。

表彰狀

吉田 光

多年土木事業ニ盡瘁シタル功績顯著ニシテ他ノ模範ト爲スニ足ル 仍テ茲ニ時計一個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和七年二月十一日

福岡縣知事 正四位勳三等 中山佐之助

右福岡縣早良郡吉田光は資性謹直敏捷にして人に接する極めて懇切、明治二十一年以來内務省土木出張所及び福島、大分、秋田、佐賀各縣に奉職し次で本縣に在職すること十有九年の長日月を主として道路工事に映掌し明治四十四年肥筑の野に 明治大帝の陸軍特別大演習御統監に際しては、十餘日の間晝夜不休の活動を以て人馬通行を

圓滑ならしめたる等精勵範とするに足るもの尠からず爾來諸規程の改正編纂に或は部下の指導等深更に至るも嘗て憂色なく始終一貫の功勞を認められたものである。

表彰狀

加藤松太郎

多年土木事業ニ盡瘁シタル功績顯著ニシテ他ノ模範ト爲スニ足ル 仍テ茲ニ時計一個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和七年二月十一日

福岡縣知事 正四位勳三等 中山佐之助

右福岡縣築上郡加藤松太郎は資性剛毅實直にして公共心深く明治二十五年築上、上毛郡役所に土木係として職を奉じ後明治四十四年に至り福岡縣屬に轉じて土木課に勤務し主として道路を管掌し更に居村千束村長及宇島町長に選ばれ前後三十數年の間銳意精勵地方の開発に資したる功勞を認められたものである。

尚同縣下十二管區九十名に對し同日付を以て坂本縣土木課長から左記感賞狀が發送

された。

表彰狀

昭和六年十月道路愛護デー實施ノ狀態ヲ調査スルニ、其ノ成績優良ナリト認ム、之レ平素ヨリ道路愛護ノ精神ニ富メル結果ニシテ、縣下路政ノ爲メ、之ヲ大ニシテハ社會一般ノ爲、寔ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリ。

軌近道路上ニ於ケル交通量ハ、年ト共ニ増大シ道路ノ改良ト愛護トハ、全國的緊要事ト成レリ、希クハ道路ハ人類活動ノ根底家底ノ延長ナルコトヲ確信シ、益々愛護心ノ發揚ニ努メ、道路ノ維持改良上將來尙一層盡瘁セラレムコトヲ、茲ニ謹テ感謝ノ意ヲ表ス

昭和七年二月十一日

福岡縣土木課長

正六位勲六等

坂本 一平

右感謝狀を交付せられたる優良團體は

福岡管區に於て、宗像郡津屋崎小學校、

粕屋郡小野村外七團體。

久留米管區に於て、三浦郡安武村、三井

郡大刀洗村、外九團體。

柳川管區に於て山門郡宮永村、三池郡銀

水村、等外十二團體。

直方管區に於ては鞍手郡小竹町新多區、

三菱新入炭坑(劍村長申請)外六團體。

行橋管區に於ては京都郡伊良原村、築上

郡推田町外十團體。

前原管區に於ては糸島郡櫻井村、早良郡

金武村外五團體。

甘木管區に於ては朝倉郡甘木町青年團、

甘木實業專修學校、浮羽郡田主丸町青年團、

縣立浮羽工業學校外九團體。

福岡管區に於ては八女郡八幡村外七團體。

折尾管區に於ては戸畑市、若松市、遠賀

郡香月村外三團體。

小倉管區に於ては、企救郡企救町、曾根

村外三團體。

伊田管區に於ては、田川郡採銅所、彦山

村外七團體。

飯塚管區に於ては、飯塚市、嘉穂郡千手

村外九團體等である。

大分市の大通鋪裝計畫

大分市の玄關たる電車通りは降雨毎に泥濘の海と化し、九州隨一の惡道路として有名で外來客は勿論、市民自身さへ常に苦情を當局に持込む状態であるが、當局は從來貧乏で如何ともする事が出来ぬと泣き詫いで済まして居たが、竹町の鋪裝が出来以來急に道路の良否が眼前に展開され大通りは勿論、魚町、南新町、名ケ小路、京町、本町、大工町細工町等一帶から鋪裝促進の聲囂々として勃興し當局にして若し依然安閑として黙過するやうなれば有爲有材をして當局を交迭せしめ其の實現を期するに至つた、而して其の第一計畫としては大分驛前より電車通へ警察署前三百十五間を鋪裝して先づ大分市玄關の面目を改良し、順次前記の各町及び縣廳から警察前等をアスファルトコンクリートに、他は交通量の關係から安價なる簡易鋪裝材で處理する方針で進む事となつた由である。